

見聞録

Record of TSR's Knowledge

物流の革命児となれるか!



代表取締役社長 中田純一 氏

「自動車運送業界…」現在の局面はどう響くだろう? 「燃料高騰」「排ガス規制」「過積載取締強化」など、取巻く環境は次第に厳しくなり、非常に不透明な印象である。

しかし、ここには、とにかく前向きな社長がいる。『どのように経営していけばいいのか?』と迷いながらも、迷っているだけでは結果は出ないと「攻撃」に出ている。その動きとは……。

【キーワード：創庫】

きわめて裾野が広い運送業界は、単なる運ぶだけのサービスとして取られがちであるが、安全・環境・コスト等、業界としての社会的責任も大きく、また製造現場であれば組立・加工・塗装・メンテナンス・梱包など、業務に直結した立場にある。

言い換えれば付加価値を生む余地も多く、荷主にとっては踏み込んだコスト削減提案が可能と社長は考えている。付加価値を生む創造的多目的スペース、それが「創庫」であると考え、当社の「創庫」には大型クレーン・リフトが完備され、いつ何時の様々な荷物も対応可能となっている。

【キーワード：提案】

物流サービスには、3PL（サードパーティ・ロジスティクス：従来の製造業者・販売業者および物流業者による運送とは異なる、新しい付加価値を生み出す物流サービス）が求められている。提案型物流サービス企業を目指し、「欲される企業」「提案できる企業」として荷主に提案するケースも増えてきた。

社長自身は「物流大学講座」を受講、会社も「経営革新支援法」の承認を受け、また、

「ニッチ戦略のリスク回避のためにITを活用するーリスクを減らすことで利益を確保するー」をテーマに、経済産業省「IT活用型経営革新ビジネスモデル事業」の承認を受けた。「この就職難で優秀な大学を出た人たちがドンドン運転手になる。普通にやっていたのでは、我々中小企業は耐えられません」と大きな危機感を抱いている。

【キーワード：IT】

業歴の浅い当社にとって創業当初は苦難の連続であった。安定した荷主を獲得するために、インターネットの求貨求車システムなどITも最大限に利用、今日に至っては極めて短時間で可能な見積システムやデジタルタコメーターの全車導入による適正な運行管理など、他社との競合に対応できる体制を整備してきた。社長自身も決して当初からITに精通していた訳ではないが、武器として活用するうちに今や必要不可欠なツールへ変化していった。

社長は語る。経験・資金など最初から与えられている人などいない。とにかく常に考え続けることが必要。最も重要なことは「自分でやる」こと。真っ直ぐに仕事に取り組んできた現在、次々に新たなアイデアが浮かび、またひとつ次なる提案が生まれている。

有限会社 中田商事

<52-200314-1>
〒518-0818 三重県伊賀市荒木893-1
TEL.0595-26-3535 FAX.0595-26-3536
URL: <http://www.nakata-shoji.co.jp>
E-mail: home@nakata-shoji.co.jp